

## ！ 避難するときの注意点

- 火の元を確認し、すぐに逃げましょう。
- 防災行政無線やテレビ・ラジオ、スマートフォンなどで情報を確認して、落ち着いて行動しましょう。
- 近所同士、声をかけ合うなど、協力して避難しましょう。
- 原則、徒歩で避難しましょう。車を使うと渋滞を引き起こし、緊急車両の通行などに支障を来す恐れがあります。

## ！ 日頃から備えるポイント



### 「防災ハンドブック」\*・「津波ハザードマップ」\*で避難場所などを確認

自宅や勤務先などからの避難場所や避難経路などを確認しておきましょう。

- \* 令和5年7月に「防災ハンドブック」を、平成31年3月に「津波ハザードマップ」を全戸配布しました。市ホームページからもご覧いただけます。冊子を希望される方は、消防本部へお問い合わせください。

市ホームページ



▲ 防災ハンドブック

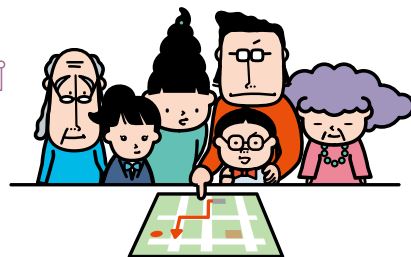


▲ 津波ハザードマップ



### 家族と災害時の連絡方法などを確認しておく

家族が別々の場所にいるときに、地震や津波が発生した場合に備え、日頃から家族で安全な場所の確認と、待ち合わせ場所や非常時の連絡方法などについて話し合っておきましょう。



### 非常用持ち出し袋の準備

日頃から備蓄品の用意や、避難したときに必要な物（水や食料、常備薬等）をリュックなどに入れた「非常用持ち出し袋」を、すぐに持ち出せるよう準備しましょう。



- \* 定期的に、中身を確認しましょう。



### 防災訓練に参加する

防災訓練への参加は、地震などの災害の発生時における行動や災害発生前の備えについて考える機会となります。「自分の身は自分で守る」ためにも、積極的に参加しましょう。



- \* 市では、毎年6月に市内全域で防災訓練を行っています。その他、職場や学校、各地区などの訓練にも積極的に参加しましょう。